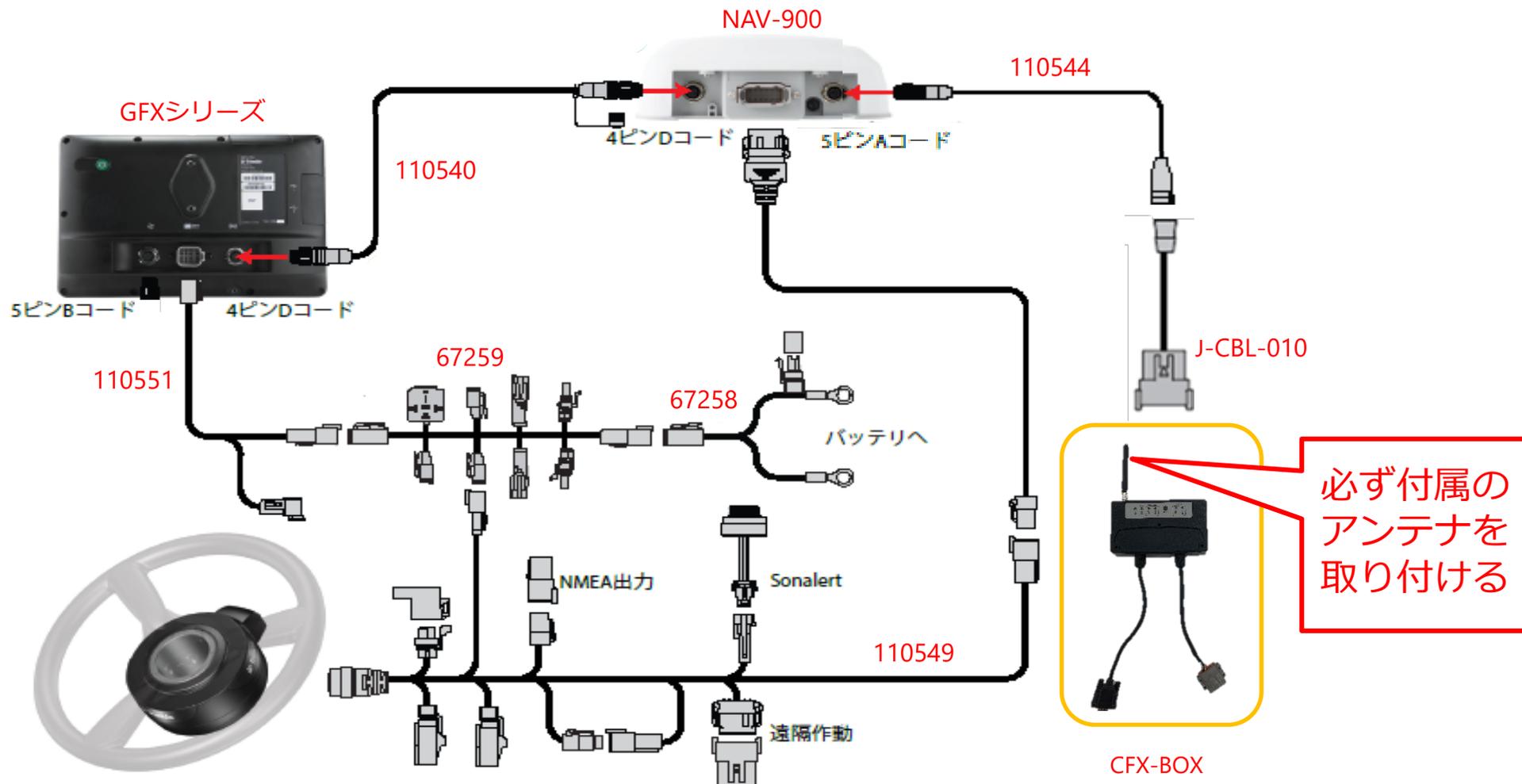




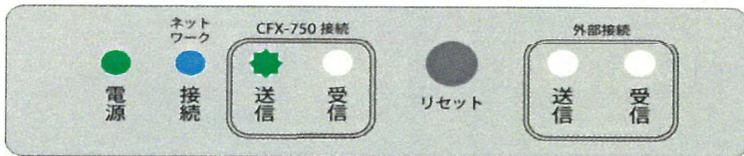
Trimble GFXシリーズ

GNSS設定 CFX-BOX編

FW15.81 (2026.03.04)



- CFX-BOXにSIMカード（docomo3Gまたは4G回線）が内蔵されています
→ **docomo3Gまたは4G回線が不安定なエリアでは、RTK補正の接続が途切れることがあります。**
- CFX-BOXの契約は1年更新です
→ **自動更新ではないため、更新時期に注文がなければ、RTK補正情報の配信は停止します。**
- VRSサーバーのメンテナンスが月1～2回程度行われます
→ **メンテナンス時間は19:00～20:00の間に行われ、その間はRTK補正情報の配信は停止します。**
実施日については、あらかじめSNS等でアナウンスします。



①GFX-750の電源を入れると、CFX-BOXの電源も同時にONになります。(左の緑LEDが点灯)
直後に「ネットワーク接続」LEDも赤点滅します。

②数秒後「ネットワーク接続」LEDは青色点滅に変わります。
(青色点滅は3G回線への接続が完了した証)

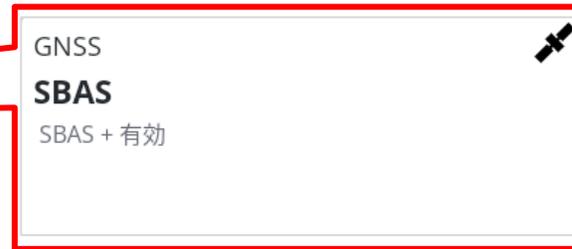
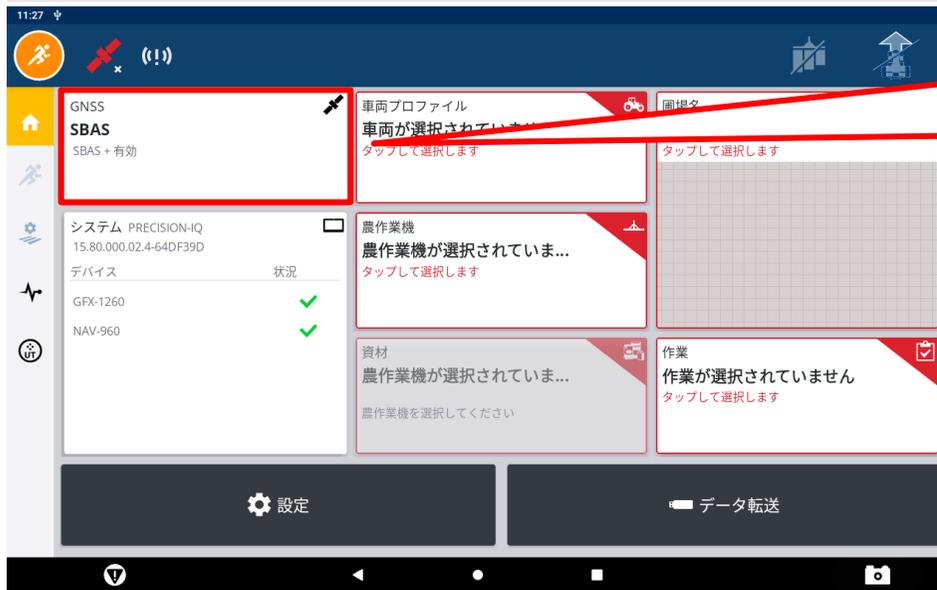
③「ネットワーク接続」LED青色点滅から LED青色点灯
(VRSサーバーへの接続完了)に変わった後、「CFX-750接続」枠内の「送信」LEDが点滅し続けます。

ネットワーク接続LEDステータス説明

	赤点滅：3G網接続中
	青点滅：3G網接続済み、GPSサーバー接続中
	青点灯：GPSサーバー接続済み、補正データ取得中
	赤点灯：GPS圏外

※しばらく待ってもCFX-BOXの接続が完了しない場合は「リセット」ボタンを押してください

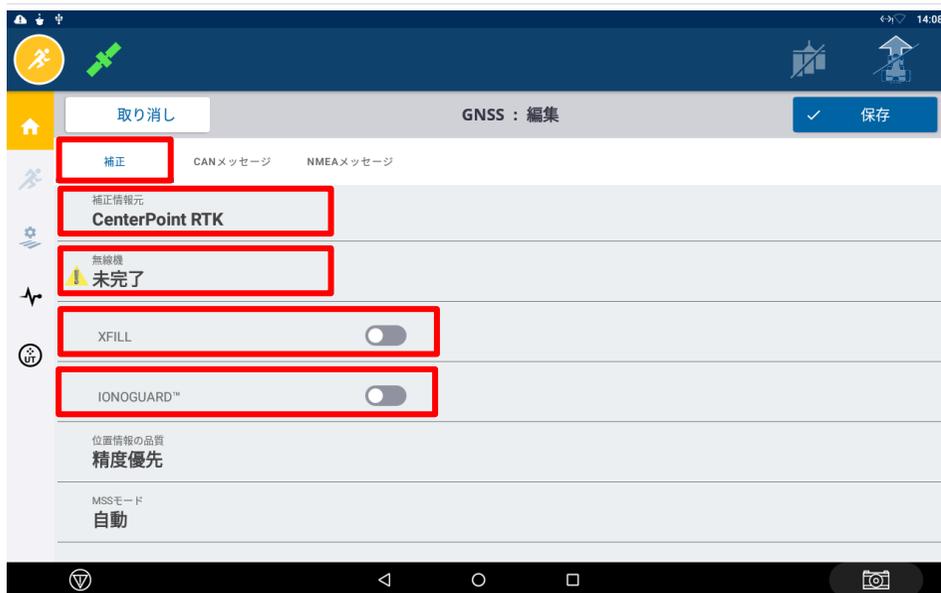
GNSS設定 CFX-BOX編



GNSSをタップ



編集をタップ



「補正情報元」

→ 「CenterPoint RTK」を選択

「無線機」

→ 「外部無線機」を選択



※1 「XFILL」

一時的に補正情報が途絶えた際に、RTK補正情報の「代替」の補正情報が衛星から提供され、最大20分間作業を継続することができます。

※2 「IONOGUARD」

電離層におけるGNSS信号の遅延やゆがみを軽減する機能です。

「XFILL」※1を有効にする



「IONOGUARD」※2を有効にする





※「MSSモード」「レーダー出力」は変更せず、上記画像の設定のままにする。

「位置情報の品質」→「精度優先」を選択

※受信状況に応じて選択が必要な場合があります

「精度優先」

精度品質が確保されたのちFixする

「作業開始優先」

精度品質よりFixを優先

「バランスのとれた品質」

精度優先と作業優先の間

「衛星システムの選択」

→全ての衛星を有効にする



GNSS設定 CFX-BOX編 「セットアップ」



セットアップ をタップ

「ボーレート」
→ 「19200」 を選択する

ボーレート
4800
9600
19200
38400
57600
115200

「データパリティ」
「なし」 のまま変更しない

「ストップビット数」
「1」 のまま変更しない

「セキュアRTKキー」
「空欄」 のまま変更しない



「XFILL周波数」

→ 「アジアおよび大洋州」 を選択

※周波数1545.2725 ボーレート1200

xFill周波数

アジアおよび大洋州 (周波数 1545.2725) (ボーレート 1200)

アフリカおよび中東 (周波数 1546.2100) (ボーレート 1200)

カスタム周波数

メキシコ (周波数 1555.8155) (ボーレート 1200)

ラテンアメリカ (周波数 1545.2850) (ボーレート 2400)

中央アジア (周波数 1545.5050) (ボーレート 1200)

北米 (カナダと米国) (周波数 1555.8080) (ボーレート 2400)

欧州 (周波数 1545.4900) (ボーレート 2400)

現在の位置から自動的に選択された周波数



「XFILL PREMIUM」

「自動」のまま変更しない

※この項目を使用するには、年間利用ライセンスの購入が必要です。

→RTK、VRSの補正信号が中断された場合に衛星を介して、バックアップ補正信号を受信。

→XFILL PREMIUMの場合時間制限なし（契約なしの場合は最大20分間）の継続作業が可能。



「RTK基準局フィルタ」

(無効) のまま変更しない

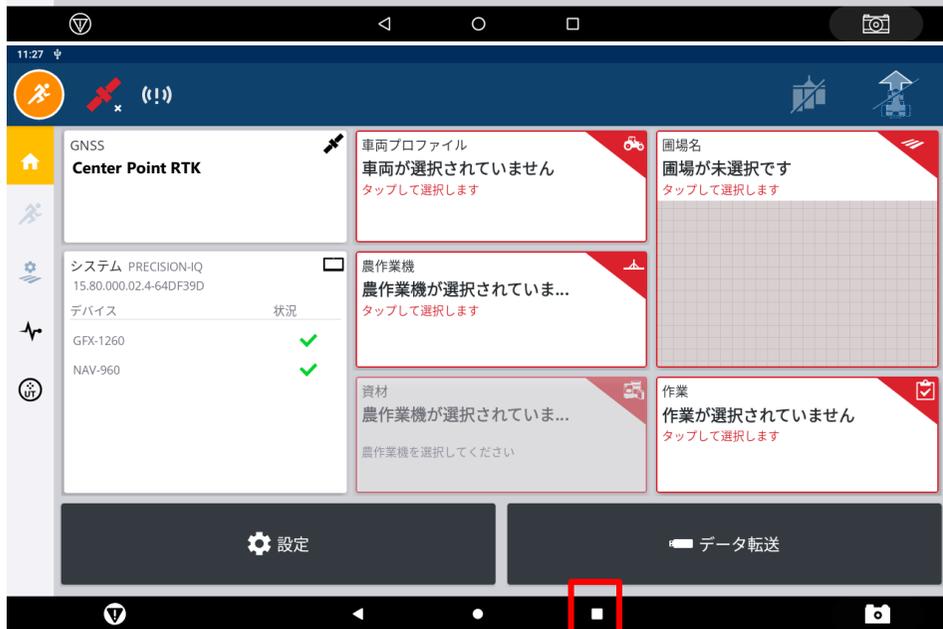


保存をタップ



戻る

をタップし、ホーム画面に戻る



PIQアプリを終了し、電源を切る

→電源を入れなおし、次の設定へ

電源の切り方

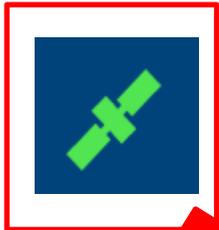
- ① ディスプレイ下部の  をタップし、PIQ画面スワイプして終了する
- ②  電源ボタンを短く一度押す
- ③  電源を切る をタップする



- ・衛星が補足できていない状態



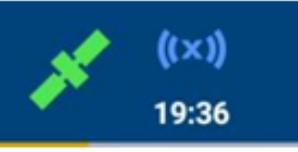
- ・衛星は補足できているが数が少ない状態
または、補正情報が未受信の状態



- ・衛星数を多く補足できている状態
かつ、補正情報も正確に受信出来ている状態

緑色になったことを確認し、作業を開始してください
※車両プロファイルの設定が必要です

xFillアイコンの表示

xFill アイコン	説明
	xFillの準備が完了しました
	xFillを使用中 タイマーは残り時間を示しています
	xFill Premiumを使用中 ※一度xFillが有効になった（上記タイマーが出た）後にxFill Premiumが発動します
	xFillの準備ができていません しばらくすると準備完了になります

xFillとは

RTK、VRSを使用している場合に使えるサービスです。一時的に補正情報が途絶えた際に、RTK補正情報の「代替」の補正情報が衛星から提供され、作業を継続することができます。障害物（樹木や建物）の影響を受ける場合があります。

【xFill】

- 無料で利用できる
- 最長20分間
- 徐々に精度が低下する

【xFill Premium】

- 有料ライセンスが必要（1年毎に更新）
- 時間制限無し（電源を切るまで）
- 精度の低下無し
- 準備に15～60分程度かかる（RTKがFixした状態で）

※xFillが発動した場合、補正情報が切断されている可能性があります。無線機・スマホ・Wi-Fiルーター等を確認し、再度接続してください。